

令和8年度入試の出題意図・ねらい

(国際関係) コース 入試区分名 (学校推薦型選抜)

全体
2022年に話題となった「生活指導提要」改訂、いわゆる「ブラック校則」問題は受験生にとって身近な「社会問題」と言っても良い。また、2024年末韓国で起きた非常戒厳騒動、再選された米国トランプ政権の権力行使も「権力」というものを考える生きた題材となっている。これらの問題と関連のある「服従」という概念に関する文章を読ませ、文章の読解力・理解力を確認するとともに、受験生の「社会問題」への関心の度合い、気づきや、論理的な立論の力を見たい。
問1
問題文の内容が理解できているかどうかを確認する。 国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点 <ul style="list-style-type: none">《求める人材》1(2)の「日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。《選抜の基本方針》における「高等学校教育課程の基礎学力」と「表現力・思考力」を見る。
問2
問題文の内容が理解できているかどうかを確認する。 国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点 <ul style="list-style-type: none">《求める人材》1(2)の「日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。《選抜の基本方針》における「高等学校教育課程の基礎学力」と「表現力・思考力」を見る。
問3
問題文のキーワードである「服従すること」の内容を理解できているかどうか、その内容と、自身が学んできた地理歴史・公民の内容や、日本ないし外国における政治・社会情勢とを関連付けながら、適切に文章化できるかどうかを確認する。 国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点 <ul style="list-style-type: none">《求める人材》1(2)の「日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。《求める人材》「高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと」の4「地理歴史・公民の知識を総合的に関連付けて問題関心を養い、自己の体験総体を生かして幅広い視野から日本及び世界で生じている複雑な社会現象を考察しようとする意欲」、同5「自らの関心に従って、高等学校での学習に関連する事柄について、旺盛な知識欲と好奇心を持って調べ抜く姿勢」を見る。《選抜の基本方針》における「主体的な探究心」、「協働性・多様性への理解」、「表現力・思考力」や「総合的な学習の時間における探究的な学習の成果」などを見る。